

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常的な外出支援	張り合いの持てるような日常の外出支援を工夫し、外出する機会を多くする。	入居者さんと一緒に日用品の、買い物に行くなど入居さんにも役割と楽しみを持って外出していただく機会を多くする。	3ヶ月
2	6	2階にGHが有る為、危険防止の為施錠をしているが、しない工夫をする。	入居者さんに開放感のあるよう、ユニット間の自由な行き来が出来る様にする。	・比較的職員が多い時間帯(午前中)に施錠をしない時間をつくる。 ・施錠しなくても安全で安心して暮らせるよう、気配り・目配りが出来るように職員の意識を高める。	3ヶ月
3	30	医療連携のあり方	・提携医療機関受診時の待ち時間の短縮 ・体調不良時の相談などが気軽に行なえるようにする。	・訪問看護部門が相談窓口となっていない。今後訪問看護部門や病院と直接相談できる体制を整える。 ・待ち時間の少ない曜日・時間帯を確認し、スムーズな受診が出来る様にする。	6ヶ月
4	34	ホーム開設6年目を迎え、レベル低下も見られる入居者も出てきており、ターミナルケアについて、ご家族からの要望が聞かれる。	ホームとしての重度化・終末期に向けた方針を確立する。	・御家族のターミナルケアなどに対する意向を確認する。 ・グループホームとしての新たな方針を策定する。 ・その方針の職員間での共有を図る。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。